

令和8年9月11日

法人企業景気予測調査

【兵庫県下の調査結果概要（令和8年7～9月期調査）】

～ 景況感の「下降」超幅は縮小 ～

中東情勢や物価上昇の影響が継続する中、価格転嫁の進展やAI関連需要が下支え

1. 企業の景況 ※景況判断BSI：前期比「上昇」－「下降」社数構成比

○ 現状判断（8年7～9月）は、全産業で▲0.9%ポイントの「下降」超。

 $\triangle 1.2 \Rightarrow \triangle 11.1 \Rightarrow \triangle 9.6 \Rightarrow \triangle 4.1 \Rightarrow \triangle 8.4 \Rightarrow \triangle 6.3 \Rightarrow \triangle 14.8 \Rightarrow \triangle 0.9$
(R6.10~12) (R7.1~3) (R7.4~6) (R7.7~9) (R7.10~12) (R8.1~3) (R8.4~6) (R8.7~9)

○ 製造業では、0.7%ポイントの「上昇」超（7期振り）。

- ・窯業・土石などが「下降」超となっているものの、化学、電気機械などが「上昇」超となっていることから、全体では「上昇」超となっている。

○ 非製造業では、▲2.2%ポイントの「下降」超（15期連続）。

- ・不動産などが「上昇」超となっているものの、娯楽、宿泊・飲食サービスなどが「下降」超となっていることから、全体では「下降」超となっている。

○ 先行きについては、全産業でみると、令和8年10～12月期、令和9年1～3月期いずれも「下降」超で推移する見通し。

2. 雇用 ※従業員数判断BSI：期末判断「不足気味」－「過剰気味」社数構成比

○ 現状判断（8年9月末）は、全産業で35.8%ポイントの「不足気味」超。

- ・製造業では、輸送用機械、化学など、ほとんどの業種で「不足気味」超となっていることから、全体では「不足気味」超（30.5%ポイント）となっている（21期連続）。
- ・非製造業では、建設、運輸・郵便など、ほとんどの業種で「不足気味」超となっていることから、全体では「不足気味」超（40.3%ポイント）となっている（60期連続）。

3. 売上高・経常利益 ※対前年度増減率

○ 8年度の売上高は、全産業で5.8%の増収見込み。

- ・製造業では、輸送用機械などが減収となるものの、鉄鋼、食料品などが増収となることから、全体では6.1%の増収見込みとなっている。
- ・非製造業では、建設などが減収となるものの、運輸・郵便、卸売などが増収となることから、全体では5.1%の増収見込みとなっている。

○ 8年度の経常利益は、全産業で▲23.9%の減益見込み。

- ・製造業では、鉄鋼などが増益となるものの、情報通信機械、化学などが減益となることから、全体では▲17.6%の減益見込みとなっている。
- ・非製造業では、小売などが増益となるものの、運輸・郵便、建設などが減益となることから、全体では▲33.2%の減益見込みとなっている。

4. 設備投資 ※対前年度増減率

○ 8年度の設備投資は、全産業で19.8%の増加見込み。

- ・製造業では、食料品などが前年度を下回っているものの、鉄鋼、輸送用機械などが前年度を上回っていることから、全体では26.3%の増加見込みとなっている。
- ・非製造業では、運輸・郵便などが前年度を下回っているものの、電気・ガス・水道、情報通信などが前年度を上回っていることから、全体では5.6%の増加見込みとなっている。

景況感等に関する企業の声（ヒアリング結果）

【製造業】

（景況感）

- ナフサ由来製品の仕入価格が上昇しているものの調達自体はできており、コスト上昇分は販売価格へ転嫁できている。（化学、中堅企業）
- 生成 AI の普及に伴い先端メモリ向け半導体関連製品は堅調。一方で、スマートフォン・PC 向け、EV を含む車載向けは弱含んでいる。（化学、大企業）
- 稼働率の向上により化学工場向けメンテナンス事業が好調。シンナーなど石油関連資材の価格が高騰しているが、以前に比べて調達環境は落ち着き、通常時の数量を確保できている。（電気機械、大企業）
- 主要取引先におけるビル・マンション等の建築について、物価上昇に伴い金額ベースでは上昇傾向にある一方で着工面積は減少しており、受注にマイナス影響が生じている。（窯業・土石、大企業）
- 紙資材や重油などの原材料価格が上昇する一方で、販売価格への転嫁が十分に進んでいない。特に重油価格は中東情勢の影響を受け高騰している。（パルプ・紙、中小企業）

（雇用）

- 設備オペレーターや現場作業員を中心に人手不足が続いており、派遣社員や残業で対応しているため、自動化ロボットや画像検査システムを導入し、省人化を進めている。（輸送用機械、中堅企業）
- 職種を問わず人手は不足しているが、募集しても集まらない。人件費も上昇しており採用に回せる余力が限られている。（化学、大企業）

【非製造業】

（景況感）

- 猛暑による影響が例年以上に大きく、外出控えを背景に利用者数が減少している。（娯楽、中小企業）
- 人件費を中心とするコスト上昇の影響で、収益が圧迫されている。（宿泊・飲食サービス、大企業）
- 中東情勢の影響により、鉄骨や塗料などの建設資材が不足している。（建設、中堅企業）
- 集客施設の稼働率が上昇しているほか、商業施設における売上も好調である。（不動産、大企業）
- 燃料調達コストが高騰しているものの、販売価格に転嫁できていることから、売上は増加している。（卸売、中堅企業）

（雇用）

- 現場監督・作業員ともに人手不足が慢性化している。中途採用を募集しているが、なかなか集まらない。（建設、中小企業）
- 総合職や運転手を中心に人手不足が続いており、新卒・中途採用の双方で募集を行っているものの、十分な人員を確保できていない。（運輸・郵便、大企業）